

七条中学校だより夏休み9号

京都市立七条中学校

令和8年8月25日

発行:校長 林 秀雄

過去・現在・未来へ「高収益の会社」は時代を映す鏡

皆さんは、「世界で最も利益を上げている会社」と聞いて、どのような企業を思い浮かべるでしょうか。実は、その時代に大きな利益を上げている企業を見れば、その時代の社会が何を求めているのかが見えてきます。そこで今回は、今から16年前の2010年頃と現在2026年の高収益企業を比べてみましょう。

2010年頃 世界の高収益企業

順位	企業名	業種
1	エクソンモービル（米国）	石油・エネルギー
2	パトロチャイナ（中国）	石油・エネルギー
3	中国工商銀行（ICBC）	金融・銀行
4	シェブロン（米国）	石油・エネルギー
5	JP モルガン・チェース（米国）	金融・銀行

2026年 世界の高収益企業

順位	企業名	業種
1	サウジアラムコ	エネルギー
2	Alphabet (Google)	AI・インターネット
3	Apple	デジタル機器・サービス
4	Microsoft	AI・クラウド
5	NVIDIA	AI・半導体

近年の世界企業の利益ランキングでは、サウジアラムコが高い利益を維持する一方、Google、Apple、Microsoft、NVIDIAなどのデジタル・AI関連企業が上位を占めています。

この2つの表を見比べると、大きな変化が見えてきます。

2010年頃の上位企業は、石油会社と銀行が中心でした。当時の世界経済は、中国をはじめ多くの国が急速に成長しており、自動車や工場、発電などに大量のエネルギーが必要でした。そのため、石油を供給する企業が大きな利益を上げていたのです。また、経済活動の拡大に伴い、銀行や金融機関も重要な役割を果たしていました。

一方、2026年のランキングでは状況が大きく変わっています。上位を占めるのは、AIやインターネット、ソフトウェア、半導体などの企業です。現代社会では、石油以上に「情報」や「データ」が価値を生み出す時代になっています。スマートフォン一つで買い物をし、動画を見て、調べ学習をし、世界中の人とつながることができるようになりました。その結果、人々の生活を支えるデジタル技術を開発する企業が大きく成長しているのです。

では、2050年はどうでしょうか。皆さんは、その頃40歳前後になり、社会の中心で活躍している世代です。2050年には

- AIと人が協力して働く社会
- 自動運転が当たり前の社会
- ロボットが様々な仕事を支える社会
- 再生可能エネルギーが主流となる社会
- 宇宙開発がさらに進む社会
- 一人ひとりに合わせた医療が実現する社会

になっているかもしれません。

そう考えると、2050年に発展している企業はどのような企業でしょうか。新しいエネルギーを生み出す企業でしょうか。AIを活用して人々の暮らしを支える企業でしょうか。宇宙旅行や宇宙資源を開発する企業でしょうか。それとも、環境問題や食料問題など、人類共通の課題を解決する企業でしょうか。

実は、2010年に中学生だった人たちの多くは、現在の生成AIの急速な発展を想像できませんでした。同じように、2050年の主役となる企業は、今はまだ存在していないかもしれません。

未来を予測することは簡単ではありません。しかし、未来をつくることはできます。世界がどのように変化しても、人々の困りごとを見つけ、仲間と協力して解決する力は必ず必要になります。皆さんが学校で学んでいる知識や技能は、その未来をつくるための土台です。

ぜひ、この二つの表を見ながら考えてみてください。

「2050年に最も発展している企業は、どのような企業だろうか。」そして、「その社会で、自分はどのような仕事をし、どのように社会に貢献しているだろうか。」未来は誰かが決めるものではありません。皆さん一人ひとりがつくっていくものなのです。